

学校週五日制開始…あれから20年! 今、学校が変わる?

平成5年3月 第15号
海蔵社協通算 第36号

地区広報

かいぞう

子ども自らの貴重な体験を広める日に



—学校週五日制を契機に地域での子育てを考える—

—地区広報「かいぞう」平成5年15号表紙—

小中学校で土曜授業が始まった!!

- 目的** ◇学力の定着や豊かな人間性の育成などを推進します。また、開かれた学校づくりを目指して家庭・地域との連携を一層深めます。
- 方針** ◆各月の第4土曜日の午前半日を基本とし、月1回程度実施します。
- ◆学校教育法として位置づけます。
- ◆各校の特色や独自性を生かした取組を行います。

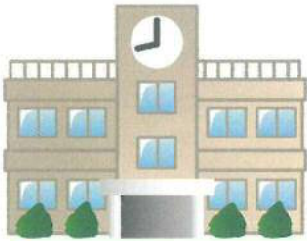
四日市市教育委員会パンフより

学校週五日制を経て思うこと

平成4年に学校週五日制が始まった。当時の地区広報で「学校週五日制」を特集した。表紙を飾った子どもたちは今は就職して家庭を築いていることだろう。あれから20年。かつてドッジボールやサッカーで子どもたちの声が聞こえた「いぬなし広場」は今は住宅地となった。当時、ゆとりと充実を目指し「子どもたちを学校から家庭へ・・・地域で見守ろう」とのスローガンのもと、いろいろな取り組みがなされた。海蔵地区でもスポーツ少年団の活動を拡充し、「海蔵エコクラブ」は当時、参加希望者であふれたことを記憶している。その後、ゆとり教育が学力低下を招いたともいわれているが、今や週五日制は企業や教育現場では当たり前となった。家庭では家族との団らん、スポーツ、塾や習い事などそれぞれの週末を過ごしている。

その20年後になって今また「土曜授業が始まる?」何がどう変わるのだろうか。掲げられた目的は「学校週五日制」発足当時と同じである。そして「土曜授業」の実施は各自治体に委ねられ、四日市市も実施に乗り出した。また、コミュニティスクールや土曜授業を通じて、より地域と連携していこうとの取り組みである。つまり月一回の土曜日に行事をする事によって平日に授業時間の確保もできる。保護者にとっても行事に参加しやすくなる。

昨今「ただいまあ」「おかえり」の親子の会話はどれだけ聞こえるのか。今は、学童保育所などの充実など放課後の子供を見守る体制は様替りした。おやつをほおぼって遊びに行った広っぱは減少し、ボール遊びや缶けりをする場所がない。じゃあゲームとなるのも時代の流れか。近所のおじさん、おばさん、そしてかあちゃんが当たり前前に「おかえり」と迎えてくれた。遊び友達がいて、遊ぶ場所があった。毎日、放課後は日が暮れるまで遊んで、年に数回、日曜日に百貨店の屋上でお子様ランチとチョコパフェを食べさせてもらうことが楽しみだった頃が懐かしく蘇る。

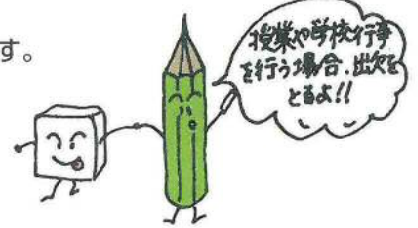


土曜授業…ご存知ですか？！

平成27年度4月から、各月の第4土曜日を基本として月1回程度「土曜授業」が始まりました。

土曜前半日を基本として以下の通り実施されます。

- 通常の授業、補充学習や発展的な学習など
- 学校行事（運動会・文化祭・音楽発表など）
- 地域と連携した防災訓練、部活動参観など



海蔵小学校の取り組み…石黒校長に聞きました！

11月28日の土曜授業でマラソン記録会が実施されました。その日、校長先生も河川敷での応援が終わってインタビューに駆けつけてくださいました。「今日は保護者の参加が多かったなあ」とお話が始まりました。

Q：土曜授業が始まると聞きましたが、今後学校はどう変わりますか？

A：基本的には何も変わりません。土曜授業は月1回行われます。今後、それが増えるかとかどうなっていくかは、今のところ分かりません。事前のアンケートでも、子どもたちは反対で保護者は賛成が多かった。でも、いざやると、教師の負担が増えるなど、なかなか難しい課題があります。また、学校週5日制のリズムは確立している中で、どうしていったらいいのかというのも難しい問題です。導入当時から地域の方の努力でスポーツ少年団などは定着しています。



Q：実際にはどんな取り組みが行われているのですか？

A：4月は授業参観とPTA総会、5月は学習支援ボランティア、6月は親子除草作業、9月は運動会、10月は授業参観と講演会、11月はマラソン記録会、1月は学習支援ボランティア、2月は「6年生を送る会の練習風景」の公開と、年間8回実施の予定です。

学習支援ボランティアの協力を得て学力補充 5月23日・1月23日



1、2、3年生を対象に、総勢16名のボランティアにより、問題が解けずに困っている子供たちへのサポートとプリント採点を実施しました。

ボランティアに参加して・・・

子どもたちはプリントが全部合格になるよう、熱心に取り組んでいました。普段の授業よりも活き活きとしていたと聞き、うれしく思いました。次回がとても楽しみです。

マラソン記録会に参加して・・・

今回のマラソン記録会は土曜日だったので、平日は仕事で、学校での子どもの様子を、なかなか観ることができないお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんなどたくさんの方が観に来られて、とても良かったと思います。

子どもたちも、たくさんの方に応援してもらい、更に頑張ろうと思ったんじゃないかな？と思います。私の子どもも、ゴールの手前で、一人抜き、まわりの「頑張れ！」「やった！行け～！！」という声援に励まされ、笑顔いっぱいゴールが出来たと喜んでいました。

家族以外の方とも交流できるので、これからも、学校行事を土曜日にして頂けると嬉しいなと思います。

マラソン記録会 11月28日



インタビューを終えて

小学校と縁がなくなり、今回学校の取り組みをあらためて伺って、地域一体となり子どもたちのために、運営や改善がなされていることは素晴らしいと感じました。学童保育所、老人会、婦人会などわが地区ならではの活発な活動で支えられていることを実感しました。



24時間を生き抜け！避難所開設ワークショップ

6月27日、土曜授業の一環として、山手中学校体育館にて2年生約240人が参加し、海蔵地区の防災会や消防の方々と共に避難所開設のためのワークショップが行われました。「釜石の奇跡」のビデオを見たり、消防本部の方のお話を伺ったりしながら、近い将来、発生が危惧されている南海トラフ大地震に備えて、中学生として何ができるのか自分たちで考えました。

災害発生時に避難所となる学校にどのような機能が必要か、実際に山手中におけるレイアウト案を班に分かれて作成する作業では、どの子も真剣な表情を見せていました。東日本大震災の際にも、中学生は地域において戦力になる存在であったという例を学び、自分たちが地震発生前にできることについて、考える良いきっかけになったのではないのでしょうか。



山手中学校 土曜授業・土曜活動 【土曜授業のみ出席確認あり】

4/25 部活見学① 6/13 PTA親子交流会（大縄） 6/27 授業3時間（防災訓練） 9/26 PTAデイハイク

10/24 中体連新人大会 11/21 授業参観（不審者対応護身教室・進路説明会） 1/23 部活見学② 2/27 授業3時間

祝 海蔵第2学童保育所 新築完成！

9月、念願だった第2学童保育所が完成しました。児童数の増加に伴い、平成21年度第2学童保育所を設立し、6年間は地域にある障害者総合支援施設「風の家」の3階を借り、開設していましたが、このたび、小学校敷地内に木造2階建てで新築しました。第1学童保育所とつながり便利になりました。広くなったプレイルームで、114名の子どもたちはのびのび遊んでいます。保健室・職員室・ユニバーサルデザインのトイレ・シャワー室もあり、とても過ごしやすいになりました。

現在、子どもの世界から3つの間（空間・時間・仲間）が失われたと言われています。海蔵学童保育所には、素敵な空間ができ、学びと遊びの時間も、たくさんの仲間もいます。これからも、第2の家庭・学校、そして、地域の宝である海蔵学童保育所を支えてください。

2階プレイルーム



完成式



1階プレイルーム



社協だより

出あい
ふれあい
語りあい

さんあい

～広報部より～

例年3月に発行する社協だより「さんあい」は、おもに事業の報告として、単独で発行をしてきました。
今年度は、地区広報「かいぞう」と一緒に印刷し、海蔵地区で行われた事業の様子をお伝えします。

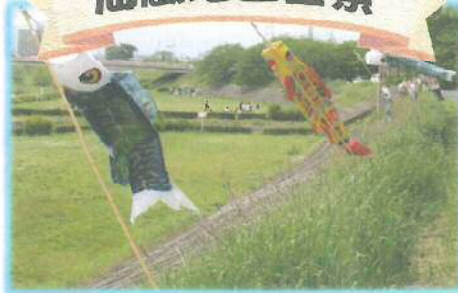
平成27年度の事業へのご協力 ありがとうございます!

年度の終了にあたり、取り組みました事業についてご報告をさせていただきます。

今年度も海蔵地区のみなさんのおかげで、たくさんの事業を無事に終えることができました。

また、地区社協支援金・善意の袋として、1,900,091円を各自治会を通じてお寄せいただきましたことを厚く御礼申し上げます。
海蔵地区社会福祉協議会 会長 阪田 稔

海蔵地区百景



海蔵川桜まつり 堀川菖蒲まつり

海蔵地区の春は花の名所!
今年度もたくさんの方が訪れました。

第13回ニュースポーツ大会

老若男女が笑顔いっぱい!
カローリングやスカットボールなどのニュースポーツを68名の方が楽しみました。

海蔵保育園の園児と高齢者の交流会

竹に絵を書いて一緒に工作をしたり、歌の発表をしました。



福祉体験教室

山手中学校の生徒と地域の人を交えて、認知症サポーター研修を行いました。目隠しハイクという、タオルで実際に目隠しをして階段の上り下りを行う体験をしました。



海蔵幼稚園の園児と高齢者の交流会

一緒に仲良く遊んだり、手づくりカレーを食べたりして過ごしました。

海蔵地区文化祭

山手中学校の吹奏楽部がオープニングを飾り、大勢の人が、秋の一日を楽しく過ごしました。地域のみなさんの力作がずらりと並び、訪れた人たちの目を楽しませていました。ステージでは、大人も子どもも、歌ったり太鼓の演奏や踊りなど、日ごろの練習の成果を発表することができました。



まちがど花いっぱい運動

希望する自治会へ、パンジーの苗を配布しました。春には、コンクールを行い、優秀賞の花壇を選定します。



第13回 身近な自然を体験する県民デー

地域から490名もの人にご協力をいただき、海蔵川・三滝川の一斉清掃を行いました。

第25回 グラウンドゴルフ大会

大人から子どもまで、105名の人にご参加いただきました。80歳以上が対象の高齢者賞は、なんと11名もの受賞者が! おめでとうございます。



福祉講演会

“「失語症について」体験談と理解”というテーマで、貴重なお話を伺いました。



おばちゃま探検隊

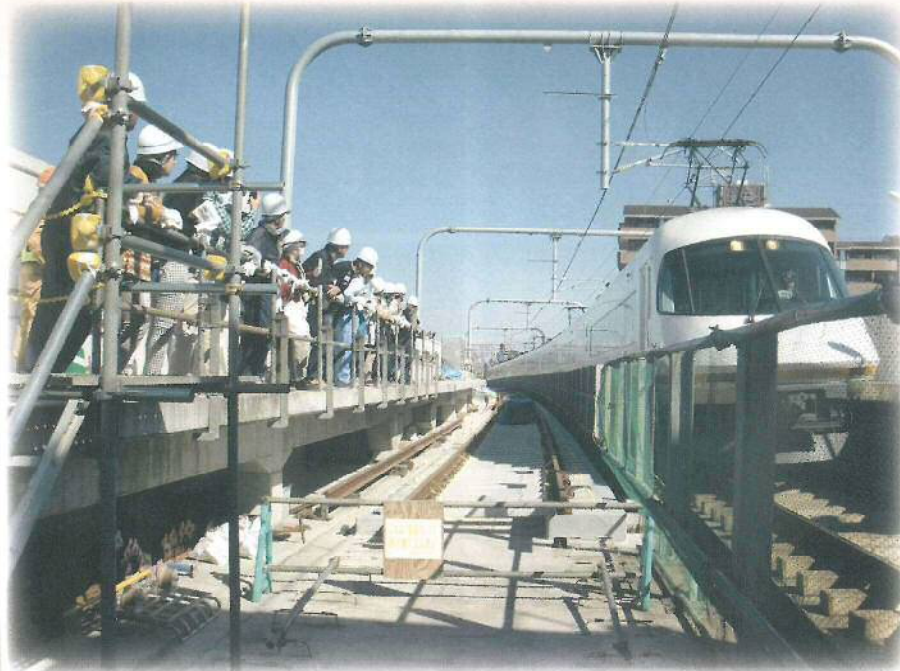
川原町駅見学会パート2

四日市行きの下り線が高架になって、
ちょうど1年やなあ。

ほんとやな。
見学会が暗れて良かったわ。

わいわいと話をしながら、
平成27年10月25日に
行われた見学会に出かけた
おばちゃま探検隊。
今回は、どんな発見をするの
でしょうか？

階段は、53段あるんやったな。
毎日、通るとる人は大変そうやなあ。



11人乗りの、大きなエレベータがあるので、
車いすやベビーカーの人も、安心して
ご利用いただけます。
階段も、蹴上(けあげ)15cm、
踏面(ふみづら)30cmとなっていますので、
とても歩きやすくなっていますよ。

通常のつなぎ目



ロングレールのつなぎ目



わあ！ 上り線も新しい線路がだいぶできてきとるなあ！

はい。この線路は、200m以上の「ロングレール」を使用しています。
実は、線路のつなぎ目は、騒音や振動の原因となっているんです。
「ロングレール」にすることで、つなぎ目が少なくなり構造も変わるので、
「ガタンゴトン」という電車の音や揺れも軽減されます。

「ガタンゴトン」という音が、しやんようになるんや。なんか、ちょっと寂しい気もするなあ・・・。
1本の線路の長さが200mって、すごく長いけど、気温差で線路が伸びたり縮んだりするんちがうの？

はい。「ロングレール」のつなぎ目は、気温変化で起きる膨張伸縮に対しても、工夫してありますので、
大丈夫なんですよ。

そうなんや。すごいなあ・・・。昔は、木で出来とった枕木も、コンクリートになっとるし、
線路もどんどん新しく進化していったんやな。

高架になって、踏切も減るで、
車の人も便利になるなあ。

【川原町駅周辺完成イメージ予想図】



そうですね。
高架にすることで、5カ所の
踏切がなくなります。
交差する道路も整備されま
すので、踏切による渋滞も
解消されますね。



こうやってあらためて見てみると、高架の下って
高さもあるし、けっこう広いなあ。

このスペースには、自転車置き場を作る
予定になっています。

ここやったら、雨が降っても自転車が濡れやんし
いっぱい置きそやなあ。

そうですね。自転車で通勤通学する人にとって、
とても便利になりますね。
そうそう、改札口を入った柱のひとつは、
萬古焼の陶板を使って地域の特徴を表現
したものになる予定なんです。

へー！ 海蔵川の桜や菖蒲園とかの模様にな
るんかなあ。
どんなデザインになるのか、完成するのが
今から楽しみやなあ。

～ 三重県四日市建設事務所プロジェクト推進室中心市街地課より ～

近鉄川原町駅周辺総合整備事業は、四日市市元町から四日市市本郷町の間約980mにおいて、鉄道の高架化により、5箇所の踏切を除却し、あわせて交差する道路の整備を行うことにより、交通の円滑化を図ります。

事業は平成19年度から本格的に着手し、付近の住民の皆様へ借地などご協力をいただきながら仮線路を築造し、電車を移すところから始まりました。

現在は、上り線(名古屋方面)側の高架線への切り替えに向けて、土木、軌道、電気、建築工事等に鋭意取り組んでいるところで、さらに、上り線が高架線に切り替わった後、側道整備や公園等の整備を進める予定です。

昼間工事のみならず、連続した夜間工事など、地元のみならずには何かとご不便・ご迷惑をおかけしています。平成29年度末の事業完了を目指して、三重県・四日市市・近鉄が連携して事業を進めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



くろけむりはくつつばしら①



小学校5年生のとき、2階の窓から見える煙突の数を数えたら56本あった。その中のいくつかからは写真のように黒い煙が立ち上っていた。煙の出る煙突の下では夜通し石炭を窯にくべたり、次の窯に入る生地を作ったり、仕上げの成形をしたり、絵付けをしたり、窯出しされた製品を検品したりするたくさんの働き人がいたことだろう。庭につるしてある烏かごの中の白文鳥の腹は、すすで少し灰色がかった。あれから55年。(海蔵川近鉄鉄橋から北を臨む)

くろけむりはくつつばしら②



海蔵小学校の正門前には田んぼが広がって、角に大きな肥溜めがあった。稲刈りの終わる運動会の頃、友達の母親から一升瓶を手渡され、居場所をなくしたイナゴを二人で獲って詰めて歩いた。あのイナゴはどうしたのだろう。(海蔵小学校運動会 昭和30年と平成24年)

海蔵地区都市計画マスタープラン

3つの検討部会を設置しました



「海蔵地区都市計画マスタープラン」とは・・・
 地域住民が提案した「地区まちづくり構想」を基に、平成26年10月、
 海蔵地区へ四日市市から今後10年間の計画が示されました。

「海蔵地区都市計画マスタープラン」を受けて、平成27年1月に「海蔵地区都市マス委員会」が活動を
 開始しました。5月には3つの検討部会を設置し、四日市市・三重県の担当部局から現状の報告や現在の
 取り組みについて、それぞれ説明を聞きました。報告・説明の主な内容は次のとおりです。

①三滝川分派・関連河川整備検討部会

三重県において「水理模型実験解析（シミュレーション）」を行っています。
 その結果を受けて、関連河川（堀川・野田川）の安全性確保を含めて検討していきます。



←1/80縮尺の
シミュレーションの様子

②西阿倉川変則交差点改良整備検討部会

当該交差点を渋滞箇所と認識しています。
 現状を把握するため、交通量調査を行います。
 （平成27年10月実施）



③阿倉川駅・駅前整備検討部会

エレベータを3基設置し、駅のバリアフリー化を優先する事業を計画しています。
 現在は、平成29年度の工事着工に向けて、関係行政機関等との調整を行っています。



今後も、海蔵地区のまちづくりに重要な上記3つの課題の整備実現に向けて、四日市市・三重県との意見
 交換を重ねて引き続き検討していきます。

海蔵地区都市マス委員会